
「人を守る技術」の躍進を目指して

常務執行役員 北村 恵一 Keiichi Kitamura

近年、多くの「もの」や「情報」が入手しやすくなり、人々の生活様式は格段に便利になってきました。その一方で、化石エネルギーの大量使用を原因とする地球温暖化、大気汚染、プラスチック廃棄物による海洋汚染など、人々の生活環境はより厳しい方向に向かいつつあります。

このような状況のなか、人を守るための世界的な取り組みが活発におこなわれています。例えば、2030年までに達成すべき17項目の持続可能な開発目標を定めたSDGsや、企業ごとに定めた期限までに再生可能エネルギーの使用率を100%とすることを宣言するRE100、2030年までにエネルギー効率を50%改善する企業を世界で100社以上にするEP100などです。

当社は「すべての人々の幸せをめざす」という企業理念のもと、「地球環境を守るための技術」、「新しいエネルギーの活用と省エネルギーのための技術」、「人の健康と安全を守るための技術」、という3つの技術テーマに着目した製品開発に取り組んでいます。これらの技術は人を守るための技術と深く関わっています。

1. 再生可能エネルギーの利用促進

当社が目指す目標のひとつとして、地球温暖化や環境汚染など生活環境の悪化から人を守るために、太陽光、風力、バイオマスなどの再生可能エネルギーの利用を促進する製品づくりがあります。これは、前述したSDGsが目標のひとつとして掲げている「エネルギーをみんなに そしてクリーンに」と合致するものです。

例えば、当社のパワーコンディショナは、太陽光発電や風力発電・水力発電などの再生可能エネルギーで発電された電力を、一般に利用できる電力に効率よく変換することができ、クリーンエネルギーを世界の人々にもたすことができます。当社は今後もさまざまな再生可能エネルギーを利用したパワーコンディショナの製品展開を推進します。また、再生可能エネルギーの利用促進は、製品開発だけにとどまらず、製品を生産する工場で使用するエネルギー源として、その利用率をさらに向上させることも当社が目指す目標のひとつです。

2. 省エネルギー化の促進

すべての人々にエネルギーをもたらす、生活環境を守るためには、省エネルギー化の取り組みは欠かせないものとなっています。当社は、少ない消費電力でより大きな性能を発揮できる省エネルギー製品の開発に加え、生産過程で発生する廃棄物を減らしたり、製品の一部の再利用やリサイクルをしたり、地球環境に優しい材料を使用するなどの活動をさらに高いレベルで実現する製品づくりを目指しています。また、製品を生産する工程で使用するエネルギー量を削減する取り組みもあわせて推進しています。例えば、製品を作りやすい構造にし、効率の良い生産ラインを構築することで、生産に必要なエネルギー量を減らす取り組みなどです。

3. 災害から人の生命・生活を守る

災害発生時にも人々の生命・生活を守るために電力は欠かせないインフラのひとつです。当社の移動電源車は災害発生時の電力供給源としても利用されてきました。また、火災を防ぐための煙感知システムで吸引のためにブローアが採用されている事例や、干ばつが起こる地域で、飲料水を確保する装置にステッピングシステムが使われている事例もあります。今後も、普段の生活を維持するだけでなく、非常時にも頼れるような信頼性の高い製品開発をおこなっていきます。

4. 人の健康と安全を守る

当社の3事業部の製品は、さまざまな分野の電気機器やこれらを生産する生産装置に組み込まれ、人の健康と安全を守るために役立っています。

例えば、CTスキャン装置には、検査台を駆動するためにサーボシステムが使われ、内部を冷却するためにファンが使われ、停電対策用として無停電電源装置が使われています。また、生産装置の例として、産業用ロボットを制御するサーボアンプのSafety機能は、人の安全を守るために役立っています。

今後も、当社は、お客さまの電気機器や生産装置の用途に最適な技術を搭載し、今まで以上に高いレベルで人の健康と安全を守る製品づくりを目指します。